

参加者の方からの写真

昆虫類



ヤマトタマムシ



コアオハナムグリ



トウキョウヒメハンミョウ



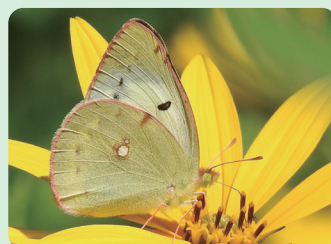
アブラゼミ (羽化)



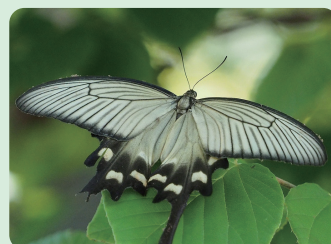
クワカミキリ



ハイイロゲンゴロウ



モンキチョウ



ジャコウアゲハ

鳥類



カワラヒワ



コサギ



カワウ



シジュウカラ



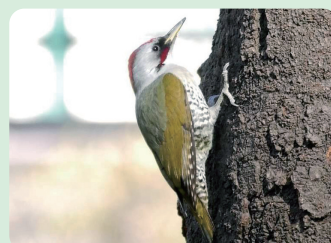
アオサギ



サンコウチョウ



オナガ



アオゲラ

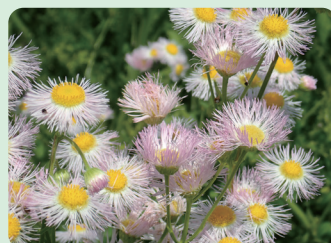
植物



オニタビラコ



ナガミヒナゲシ



ハルジオン



ヘクソカズラ

その他



アズチグモ



ニホンカナヘビ



オオケマイマイ



アオダイショウ

参加者の方からご報告
いただいた写真の一部
をご紹介します。

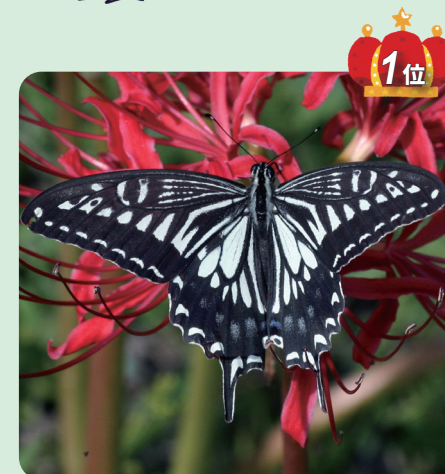


いたばし 自然・いきものさがし 2021 年度 ニュースレター



「自然・いきものさがし」の集
計結果について上位 10 種ま
でのいきものを紹介します。

調査期間：2021 年 4 月 20 日～2021 年 9 月 20 日
参加人数：973 人（累計）
報告件数：4,205 件（583 種）



ナミアゲハ (210 件)

大型のチョウで、ミカンやサンショ
ウの葉で幼虫が見つかります。



ヤマトシジミ (159 件)

小さなチョウで、道端のカタバミに
卵をうみます。



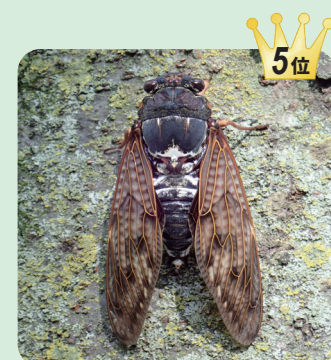
モンシロチョウ (158 件)

誰もが知っている身近なチョウ。紋
は前バネの裏にあります。



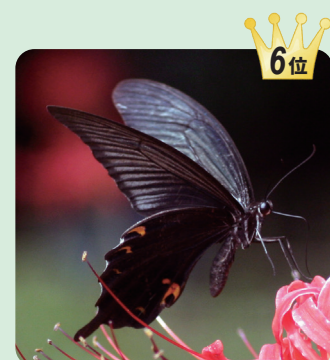
ミンミンゼミ (127 件)

夏を代表するセミで、大き
な声が夏を感じさせます。



アブラゼミ (126 件)

大きくてハネが茶色く、見
分けやすいセミです。



クロアゲハ (108 件)

後ろバネの縁に赤い紋と太い
突起がある黒いチョウです。



アオスジアゲハ (99 件)

黒地に青もようの入った
チョウです。



ツマグロヒョウモン (80 件)

メスはハネの先が黒く、
白い斑があります。



キジバト (79 件)

昔は山鳩とも呼ばれて
いました。



ツクツクボウシ (72 件)

夏の終わりが近づくと鳴
き始めるセミです。



調査結果の詳細については、環境政策課自然環境保全係へお問い合わせください。
データは環境省のウェブシステム「いきものログ」にも登録をしています。

※ニュースレターに掲載されている写真の一部に、参加者の方からご報告いただいた写真を使用しています。



見どころ別報告数ランキング



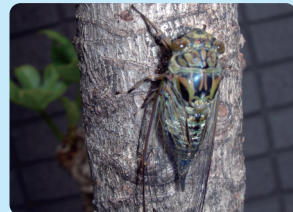
赤塚公園 931 件



1 位：ミンミンゼミ
56 件

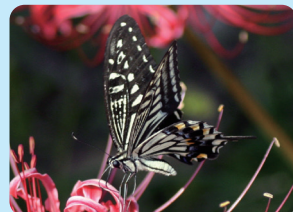


2 位：アブラゼミ
53 件



3 位：ツクツクボウシ
35 件

赤塚植物園 227 件



1 位：ナミアゲハ
22 件



2 位：クロアゲハ
18 件



3 位：モンシロチョウ
12 件

荒川生物生態園 216 件

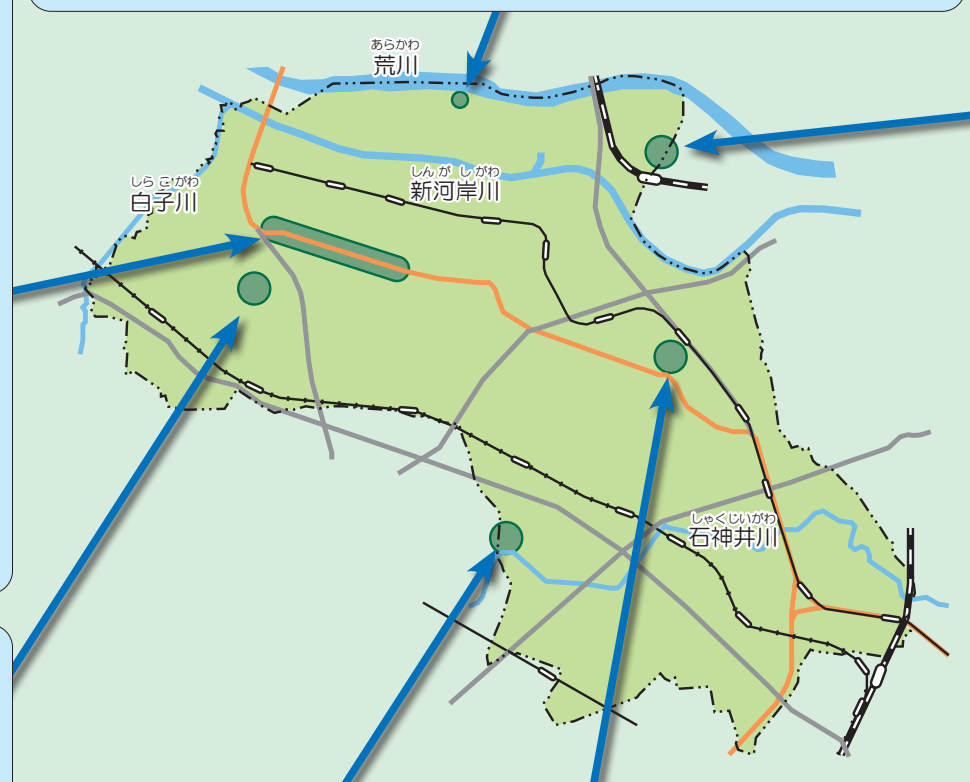
1 位：トノサマバッタ
6 件



1 位：シオカラトンボ
6 件



1 位：ショウリョウバッタ
6 件

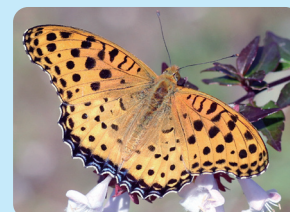


城北中央公園 283 件

1 位：モンシロチョウ
14 件



2 位：ツマグロヒョウモン
11 件

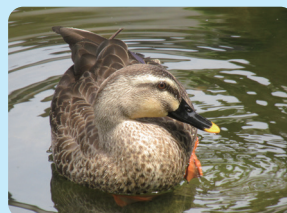


2 位：ナミアゲハ
11 件



見次公園 55 件

1 位：カルガモ
10 件



2 位：カメ類
6 件



3 位：シオカラトンボ
5 件



浮間公園 74 件



1 位：コシアキトンボ
5 件



2 位：クロアゲハ
4 件



2 位：シオカラトンボ
4 件



区内の六つの見どころから報告数の多かった3位までのいきものを紹介します。

ランク外 荒川生物生態園



クロベンケイガニ
土手にすむ、毛が多くて角ばった黒っぽいカニです。

ランク外 赤塚植物園

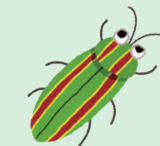


ルリタテハ
紺色にルリ色のラインが入ったタテハチョウです。

ランク外 赤塚公園



カブトムシ
昆虫の王様とも呼ばれています。



調査からわかったこと



希少種について

「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）2020 年版」に選定された種のうち、キツネノカミソリなどが報告されました。

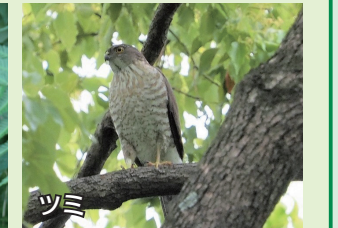
これらのいきものが暮らす赤塚公園などの大きな公園や緑地は、区内の貴重な自然環境といえます。



ヒガシホシドカゲ



キツネノカミソリ



ツミ

外来種について

外来種としては、アライグマ、ワカケホンセイインコ、ミシシippアカミミガメ、アカボシゴマダラなどが報告されました。特にアライグマは、環境省が指定する特定外来生物で、分布の拡大により在来種や農作物への影響が心配されます。



ミシシippアカミミガメ



アカボシゴマダラ



アライグマ

夜行性のいきものが報告されました

報告されたいきものの中には、昼間は活動していないものも含まれていました。ニホンヤモリ、アズマヒキガエル他に、タヌキ、ハクビシンといった報告もありました。



ニホンヤモリ



タヌキ



アズマヒキガエル

自然観察会を実施しました（城北中央公園）

実施日時：6月6日（日）10：00～12：00 参加者：24人

城北中央公園で、植物や昆虫、鳥などを中心に草地や林のいきものを探して、観察しました。当日は小雨模様でしたが、コシアキトンボやモンシロチョウなど39種のいきものを観察することができました。

（参加者の感想）

- ・知らないいきものがたくさんいて、いきものさがしの楽しみが増えました。
- ・何気なく見ていた植物や初めて見る昆虫が、説明とともに知ることができて大変新鮮でした。
- ・都会でも観察する目を持てば、自然の世界を広げられることが分かりました。

